

有田町の特徴や誇れるもの

古くから焼き物の町として有名な有田町は、1616年に朝鮮人陶工李参平らによって泉山に陶石が発見され、日本で初めて磁器が焼かれました。以来、佐賀藩のもとで、磁器生産が本格化し、谷あいには「有田千軒」と呼ばれる町並みが形成され、繁栄を極めました。この町並みは、現在も歴史的価値の高い建物が数多く残っており、1991年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。2016年には磁器誕生400年を迎えます。

一方で、有田町は「棚田」という特徴的な景観を持つ稲作地があり、県下有数の畜産地でもあります。有田焼の「器」と農業の「食」、両方の魅力を堪能できる有田町。伝統と歴史、豊かな観光資源を生かした町づくりに取り組んでいます。

教育委員会所在地：有田町本町丙1002番地2

連絡先：0955-43-2324

学校数： 小学校 4校、中学校 2校

有田小学校



【チロリン節】 運動会では毎年、児童・職員・保護者・地域の方々など、みんなで「チロリン節」を踊ります。小皿を鳴らしながら踊る古賀政男氏作詞作曲で、美空ひばりさんが有田のために歌った曲です。

【陶器市遠足】 120年以上続く有田陶器市は、毎年4月29日～5月5日実施されます。自分達の校区にある伝統行事を肌で感じながらも、決まった金額の中でお店の人と交渉をしていかに自分が好きな物を買うかを体験しました。



有田中部小学校

【陶芸教室】 地元の窯元の方、陶交会の方、伝統工芸士会の方、有田工業高校の生徒さんにご指導をお願いして全校で焼き物作りに取り組んでいます。学年ごとのテーマに沿って個性あふれる焼き物を作ります。校内焼き物展で、ご指導いただいた方、保護者などたくさんの方々に見て頂きました。



【3年生：陶器市のひみつを探ろう】 有田陶器市のお客様にインタビュー。どのようにして陶器市を知ったのか、なぜ行きたいと思ったのかなど自分たちで質問を考えて尋ねます。たくさん有田の街をほめていただき、改めて郷土への誇りを感じました。

西有田中学校

【ありた ふるさと食の日】



<献立>もち麦ご飯、牛乳、有田呉豆腐入りコロッケ、戸矢かぶの佐賀のり和え、有田鶏のあったか味噌汁

町内小中学校は、地域の食文化や食の歴史、地域への関心を高め郷土愛を育成するため、たくさんの地場産物（佐賀県産・有田産）や旬の食材を使った給食を実施しています。

有田中学校



【職場体験活動】 2年生は、郷土への理解を深め、仕事について大変さややりがいを学びました。



【陶器市インタビュー】 1年生は、インタビューを通して、有田の再発見や伝統について考えました。



【絵付け教室】 3年生は、伝統工芸士の方から、一緒に絵付けをしながら、伝統工芸品についてなど学びました。

曲川小学校

逃げ餅

毎年11月22日、曲川小学校下本区で行われている



「逃げ餅」は、500年ほど前から伝承され、町重要無形民俗文化財の指定を受けています。4年生が社会科「地域に伝わる伝統行事」の学習で見学に行きました。お話を聞いたり、実際に餅つきをしたりしながら伝統行事を体感していました。

本校の校内焼き物展は、15代柿右衛門先生のお父様である14代柿右衛門先生が本校出身ということで、お父様の時代から大切にされてきた学校行事です。焼き物への関心や、地域の方々との関わりなど、ふるさと有田を誇りに思う児童の育成を目指す教育活動です。



校内焼き物展「柿右衛門展」



大山小学校

地域の宝！棚田を守ろう！（5年）



岳の棚田は「棚田百選」に選ばれ、そこでできる棚田米はとともおいしいと評判です。岳の棚田保全協議会の方から棚田の歴史や保全の苦労について話を聞き、実際に棚田で米作りを体験することで、地域の宝である岳の棚田をこれからも大切にしていきたいという気持ちが育ちました。収穫したお米は、調理実習や販売活動に活用することができました。